

学校にエアコンを設置し、学習環境を整えるべきでは

高橋 茂樹 議員



Q 今夏の異常気象で、学校の夏休み前後にも38度を超える日があった。到底、教室で正常に授業が行える気温ではない。町は、小中学校の普通教室・特別教室にエアコンの設置を考えているか。

A 町長 小中学校の普通教室は、扇風機で



普通教室に設置された扇風機

対応している。エアコン設置を希望する声も一部あるが、成長段階の子どもたちの、健康面への影響を懸念する声もある。エコ・温暖化・健康面・財政的負担などを勘案し、望ましい学習環境を研究する。

Q 健康面を懸念するといふが、保育所や幼稚園にはエアコンが入っている。学習環境を整えるには、適正な温度の教室で学習した方がよいと思う。勉強しやすい温度はどのくらいと考えるか。

A 教育長 学習環境に適した温度は、10℃〜30度までと言われている。エアコン設置に、どのくらいかかると試算しているか。

Q エアコン設置に、どのくらいかかると試算しているか。

A 学校教育課長 正式な試算はしていない。設置を決めた前橋市と比較すると、工事は前橋市13億5000万円に対し、玉村町は約10分の1の1億4700万円程度。年間電気料は、前橋市約1億5000万円、玉村町は約1600万円になると予想される。施設の違いはあるが、あくまでも前橋市を基準にして計算した数字である。

Q 子どもたちに、良好な環境をきちんと勉強させてあげたい。

A 町長 よりよい学習環境を提供するための工夫をしていく。

Q 町長 よりよい学習環境を提供するための工夫をしていく。

保育料の負担増加に対応した、保育料基準額の見直しを

石内 國雄 議員



Q 幼児から中学生までの扶養控除の廃止に伴い、保護者の所得税が増える。保育料は保護者の所得等により決定しているため、負担が増加する。保育料基準額の階層の見直し・保育料基準額（月額）の改定等の取り組みを行い、急激な負担増を回避すべきと考えるがどうか。

A 町長 国の動向を注視しながら、保育料に影響する区分についてよく検証し、今後の対応を検討していきたい。

Q 年少扶養が1人から4人いる家庭では、階層区分が2階級上がることもあり、負担額が年間10万円から25万円増加する人もいる。所得は増えないが所得税が上がり、保育料の負担額が増えてしまう。ぜひ早めに検討してほしい。

A 町長 検討したい。

Q 社会環境が変化している中、公共施設

A 町長 早急に変えた確保を。

充実が求められている。協働推進センターの表示案内、ふるハートホールの行事開催案内、文化センター！学校等の洋式トイレへの改善計画は。

Q 文化センターの西北階段非常口のスロープ化で、車いすの非常口の確保を。

A 町長 早急に変えた確保を。

Q 文化センターの西北階段非常口のスロープ化で、車いすの非常口の確保を。



おいしいね！ 保育所の給食

町の農業を守る施策の推進を

笠原 則孝 議員



Q 町の農業を守る水田の転作物は。

A 町長 米粉用とWCS用の水稲がある。米粉用は、需要に不安がある。WCS用は、農業公社で機械一式を導入した。

Q 町の水稲の作況指数が、全国でも最悪である。救済策を考えているか。

A 経済産業課長 県と町合わせて、1反4000円弱の補助をしていく。農業農村公園構想計画の状況は。

A 町長 一度白紙に戻した。

Q 東部工業団地の拡張部分への企業誘致は。

A 町長 当初計画通りの企業に、売却を予定している。

Q 近隣の大型商業施設開設に対する、町商店街の活性化対策を問う。

A 町長 プレミアム商品券発行を継続する。庁舎外壁工事は、入札によりコスト削減を図れ。

A 町長 よく調査し、維持管理費も少なく済む工法を検討している。

Q 外壁工事に当たり、課長と一緒に視察に行ったようだが、危機管理意識が欠けているのではないか。

A 町長 今後は改善する。

Q 預金差押訴訟事件では、なぜ専決処分をしてまで和解したのか。

A 町長 和解の経過は6月議会で説明したとおりである。町民からの訴訟は、裁判の推移を見守っていく。



WCS刈り取り

※WCSとは
ホールクロップサイレージのこと

前橋赤十字病院の誘致を考えているか

浅見 武志 議員



Q 前橋赤十字病院の建て替え問題で、大沢知事は9月24日、地元説明会で移転する方針を伝えた。

救急救命や災害医療の基幹病院としての機能を發揮し、健全経営を維持するため、早期に建て替え事業を進めると説明している。



前橋赤十字病院

主な移転理由には、ドクターヘリの夜間運行や、大規模災害時に防災ヘリや自衛隊の大型ヘリが離着陸することを想定してヘリポートを地上に整備するとし、敷地を拡張して現在地で建て替える案では1万6500平方メートル程度不足すると指摘している。

近隣地の買収で対応すると事業費が大幅に増加し、建て替え後の健全経営が危ぶまれる投資計画になると説明した。

今後の方針は、県と前橋市が連携して早急に移転先

の用地を取得し、事業を進めることとなっている。

この機会に、玉村町の医療体制の充実を図るためにも、前橋南一C近くでアークセスもよい群馬ヘリポート東隣の7万4000平方メートルの土地に、前橋赤十字病院の誘致運動をしてはどうか。

土地の所有者への問題など課題は多いと思うが、ぜひ進めてほしい。

A 町長 県及び前橋市の情勢分析に努めながら、方向付けをしていきたい。